



TITLE:

花山天文會落成記念祝賀次第

AUTHOR(S):

CITATION:

花山天文會落成記念祝賀次第. 天界 1929, 9(103): 528-529

ISSUE DATE:

1929-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161467>

RIGHT:

花山天文臺落成記念祝賀次第（豫定）

十月十七日（木曜日，神嘗祭）

此の日は**天文部の関係者のみ**の「水入らずの」祝賀會

- | | |
|-------------|---|
| 午前 9 時 | 帝國大學天文學教室より一同打ち揃ひ登山. |
| 同 10 時—12 時 | 天文臺構内を各自自由縦覽，散策. |
| 正 午 | 祝賀記念午餐會（宿舍にて） |
| 午後 2 時—4 時 | 京都天文學會例會（圖書室にて） 演説講演論文朗讀紹介等いろいろ々々. |
| 午後 5 時半 | 當夜の宿泊者のみの晚餐（宿舍食堂にて） 宿泊希望者は前日までに申込まれたし. |
| 午後 7 時から | 天體觀測及び夜景觀望 |

十月十八日（金曜日）

此の日は天文臺を**一般社會人士に公開**。（但し雨天ならば中止）

- | | |
|--------------|--|
| 午前 9 時—午後10時 | 一般に構内の自由縦覽，及び，天體觀察を許可す。（但し，必ず靴又は草履の事） |
| 午後 7 時より | 通俗學術講演會（樂友會館にて） 山本一清，「望遠鏡で見える宇宙」 中村 要，「反射鏡と屈折鏡」. |

十月十九日（土曜日）

此の日も**一般公開**をなす。（但し雨天ならば中止）

- | | |
|--------------|--|
| 午前 9 時—午後10時 | 一般に構内の自由縦覽，及び，天體觀察を許可す。（但し，必ず靴又は草履のこゝ） |
|--------------|--|

此の日は先づ**大學の公式祝賀會**を催す.

- | | |
|-------------|---|
| 午後 3 時—4 時 | 來賓受付け及び構内案内. |
| 同 4 時—5 時 | 祝賀式（構内前庭にて） 山本教授 挨拶と講演「天文臺と天文研究」 新城總長 演 説 |
| 同 5 時半—6 時半 | 天體觀覽. |
| 同 6 時半— | 記念晚餐會（都ホテルにて） |

十月二十日（日曜日）

此の日は**一般公開**及び**天文同好會總會**を開く。

午前 9 時—正午 一般人士に構内の縦覽及び天體觀察を許可す。

午後———天文同好會第12回總會

1 時—3 時 記念學術講演會（屋上露臺にて）

會員外の傍聽を許す。

山本教授 「太陽研究の近狀」

百濟助教授 「天體の週期軌道に就て」

3 時—5 時 同好會協議會（圖書室にて）

5 時半—6 時半 記念晚餐會（宿舍にて）

參加希望者は前日までに申込まれたし。

7 時より 天體の觀察、及び屋外夜景觀望。

注意： 天文同好會員は成るべく午前中に天文臺構内を自由縦覽されたし。

以 上

花山道路の標識に因む人の名の數々

（本誌第 519 頁參照）

1. **トレミ** | 西曆第 2 世紀中頃、アレキサンドリアの天文家。大著「アルマゲスト」を書き、千年以上の指針となる。
2. **オイマ** | 同 第十一世紀の、ペルシャ國の詩人兼天文家。
3. **ブルジョ** | 第十六世紀の哲學者。地動説を主張して殺さる。
4. **コペルニク** | 第十六世紀の天文家。地動説を唱へ、天動説を否定す。
5. **ケプラー** | 遊星の楕圓軌道を發見し、三つの法測を主唱す。
6. **ガリレオ** | 望遠鏡を發明し、太陽黑點、木星衛星、月の山、金星の三日月形、銀河の眞相等を發見。地動説を唱へて迫害せらる。
7. **ニウトン** | 第十七八世紀の英國ケンブリヂ大學教授。宇宙の引力論を唱導し、天體の運動理論を解決す。
8. **ハッセル** | 天王星の發見者。二重星や星雲の探求者。